

Saori Ikeuchi TIMES / no.010 / 2019.10.13 sun.

TOKYO 12 HAUS

池内さおり通信
日本共産党
衆院東京12区
池内さおり事務所
〒115-0042
東京都北区志茂
2-53-7

電話：03-5939-6581 ファックス：03-5939-6582 メール：tokyol2haus@saori-ikeuchi.com

消費税は5%に減税を! ごいっしょに政治を変えましょう

10月1日、消費税が10%に増税され、日本中に怒りの声が吹き荒れています。北区の商店街では「食費を削っている。奨学金も返さなくてはいけないし、増税はずしとくる」、「給料は下がり生活は苦しくなっている。給料が上がらないのに税金だけ上がるのは本当に困る」、「今後いったいどうしたらいいのか」などの声があがりました。

日本共産党は、消費税を緊急に5%に減税し、さらに廃止へ新たなたたかいをよびかけました。池内さんは「政治は明日の暮らしを豊かにするためにある。ごいっしょに政治を変えましょう」と訴えています。



赤羽駅西口で増税反対の宣伝をするさおりとしこ区議(左)と池内さん(右から三人目)、地域のみなさん



池内さおり
Saori Ikeuchi
前衆議院議員

美大生の皆さんとも「友達」になり、もとむら伸子衆議員の力を借りて愛知県と名古屋市の署名提出に同行。「女性差別、民族差別、歴史修正主義は許されないと行政に働きかける彼女たち! その道のりに私も併走させてもらえたことが嬉しい! 若い力は確実に存在しています。この可能性を大事に育み、つながりたい。」

近頃実に様々な方々が12HAUSにお立ち寄りくださっています。つくづく感じるのは「女性が安心して何でも語り合える場所は本当に求められている」ということ。ある20代のフェミニストたちは、13時に来所し7時間! ノンストップで幼い頃からのジェンダー差別に苦しんできた経験や、自身の物語を聞かせてくれました。「こんなに安心できる場所はない。政治についても興味はあるし語り合いたい。」と語る彼女たちの人権感覚は鋭く、政治へのまなざしは真剣そのもの。こうした感性に込められる党活動を大きく展開したいと改めて強く感じました。

Column vol.10
つながる心、広がる信頼

色あざやかな社会へ

毎月12日は

TOKYO 12 HAUS の日

池内さおりは毎月12日、「TOKYO 12 HAUS」にあります。お気軽にお立ち寄り下さい。

池内さおり トークタイム

10月12日(土) 14:00 - 17:00
11月12日(火) 14:00 - 17:00



トークセッション 政治 × ダンス

語りあう SAEKO さん（左）と池内さん



9月28日、池内さおり事務所でダンサーのダーリン SAEKO さんとのトークイベントが開かれました。

冒頭では経歴を紹介。SAEKO さんはダンサーの労働環境に対し

疑問を持ち、独自に表現の場を広げてきました。2018年サルサ世界大会では、注目されてこなかったサルサのルーツに光を当てたダンスでアジア人初の優勝。事務所スクリーンにその映像が流れると独創的なダンスに驚きの声。そしてその場で SAEKO さんから参加者にミニダンスレッスンも！

会の後半は池内さんが、小林多喜二を通じて人々の抵抗の歴史を知り共産党員になったことや、活動での苦労を通じた自身の変化などを語りました。2017年性刑法改正の衆院本会議質問をスクリーンで視聴。法律にジェンダー不平等が刻まれていると語る池内さんに、ダンスにもジェンダー役割が根強いことが SAEKO さんから話されました。

個々人の感性を大切に、「権威」から離れた人々に思いを寄せて活動してきたお二人。終わりに池内さんは「皆で思いを共有し、よりよく生きるための選択肢を広げていくことが政治の仕事」と語り、SAEKO さんは「芸術家本来の役割として、社会をしっかりと見て意見を発信したい」と話しました。

会には25人が参加。「ぶ厚いエッセイや自伝を読んだ気分です」「メッセージを伝える難しさや大切さ、慣習を変える強い気持ちを感じ、とても刺激的でした」などの感想が寄せられました。

表現の不自由展 美大生らが再開求める署名提出

「あいちトリエンナーレ」の「表現の不自由展・その後」が、「平和の碑」(少女像)などに対する政治的圧力や脅迫により中止に追い込まれた問題で、多摩美術大学を中心とする学生や研究者、市民などの有志グループが9月30日、展示再開を求める署名を河村たかし名古屋市長と大村秀章愛知県知事に提出しました。提出にはもとむら伸子衆院議員とともに池内さんが同行。同日、表現の不自由展が再開される見通しとなり、学生らは喜びの声を上げました。

有形無形の圧力、誹謗中傷等で表現活動を中止に追い込む動きに対し、池内さんは「全力で抗い、“政治的”などという言い訳にもならない弁明や無責任を終わらせよう」と述べました。



署名を手渡す美大生らと池内さん
(左から三人目)

子どもの人権に根差した 教育環境を！

～串カツ&おにぎりランチ会～

池内さんは9月8日、斉藤まりこ都議、山中ちえ子区議とともに、足立区の子育て中の方々と教育について語り合いました。

参加者からは、全区的に学校の統廃合が進む中で子どもたちにしわ寄せがきている実態や、保護者の切実な要望が語られました。池内さんは「子どもの成長発達にとって何が必要かを柱にすえて、ともにより良い教育環境を求めていきましょう」と語りました。

会は池内さおり事務所で開かれ、キッチンで参加者が握ったおにぎりや揚げたての串カツをかこんで和気あいあいと行われました。



参加者と語る池内さん（左から三人目）

参加キッズ大募集！

ドイツ人のリカ先生と Let's speak English!
Tokyo12HAUS で楽しく英語にふれてみませんか？

月1回 / 金曜 / 19:30 受付 20:30 終了
(年内は 11/22、12/6 を予定)

お子さん1人につき1回 500円 (資料代)
対象：3才～未就学児

参加をご検討の方はお気軽に以下までお問合せください♪ 詳しい内容をお知らせいたします。

mail ▶ tokyo12haus@saori-ikeuchi.com
tel ▶ 03-5939-6581 (池内さおり事務所)